

丹波市地域福祉計画推進協議会
地域福祉推進部会（第2回）
議事録

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和2年8月3日（月）午後1時30分開会～午後2時44分閉会 |
| 開催場所 | 氷上健康福祉センター 集会運動室 |
| 部会長 | 澤村委員 |
| 出席者 | 長井委員、澤村委員、森島委員、堂本委員、上田委員、細見委員、吉積委員、中川委員（以上8名） |
| 欠席者 | 足立委員、北村委員（2名） |
| 議題 | 1. 開会 2. 部会長あいさつ 3. 委員の交代について 4. 前回協議をふまえた意見交換 （1）福祉に関わる専門人材の確保・育成 （2）社会福祉法人の地域における公益的な取組促進 5. 今後の進捗と次回日程 6. 閉会 |
| 資料 | （1）会議次第 （2）丹波市地域福祉計画推進協議会 地域福祉推進部会部会員名簿 |

| 議事の経過 | |
|-------|---|
| 発言者 | 発言の要旨 |
| | 1. 開会 |
| 事務局 | ○開会あいさつ はじめに、澤村部会長よりごあいさつ願いたい。 |
| | 2. 部会長あいさつ |
| 部会長 | ○あいさつ |
| 事務局 | ○出席事務局職員紹介 丹波市地域福祉計画の今からする部会、そして休憩をはさみ、丹波市社協の地域福祉推進計画、これは丹波市地域福祉計画のより具体的な行動計画、住民の方がどのように動かれるのか、またそれをどのように社協が支援していくか、この2本立てで協議していく。 |
| | 3. 委員の交代について |
| 事務局 | 新しく就任された堂本委員より一言ごあいさつ願いたい。 |
| 委員 | ○就任あいさつ |
| 事務局 | なお、足立委員、北村委員は欠席の届けが出ている。本日は8名の委員となる。 ○資料確認 |
| | 4. 前回協議を踏まえた意見交換 |
| | (1) 福祉に関わる専門人材の確保・育成 |
| 部会長 | 事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | ○資料1ページのAについて説明 |
| 部会長 | A、B、C、Dと今から協議するが、一項目ずつご意見をいただくということでおろしいか。 |

| | |
|-----|---|
| | <p>それでは、「5. 福祉に関わる専門人材の確保・育成」の、まずAの「介護福祉職場の魅力アップと離職防止支援」のためにどんなことができるか。前回の部会意見を受けてまとめていただいた施策例のほかに、こんなもあるのではないか、こんなことをもっと強化したら良いのではないか等、何かご意見はあるか。</p> |
| 委員 | <p>前回欠席で申し訳ない。一つは、介護福祉現場は介護保険法の法律の中で動いている。例えば丹波市に何とかしてくれと言っても介護保険料が上がるわけではなく、行政は運営の規模等について云々という立場ではない。従つて、行政支援の必要性があるというのは、情報発信と職業紹介等の役割を行政が担うということだと思う。他に手助けをしてもらうことは恐らくない。そのあたりをきちんと伝えておく必要があるのではないか。行政の役割としてこの領域以外にはなかなかでき難い。</p> <p>もう一つは、離職があるということは働きがいがあるかないかという判断だと思う。経営者の理念が自分と違うことが原因で離職されることが多いと思う。施設も努力が必要ではないか。</p> |
| 部会長 | <p>お話しを聞いていて思ったが、確かに介護現場は3年ぐらいで辞める方がある一定割合で、それを過ぎるとわりと定着する。介護を辞めて全然違う仕事にいくのかと言うと、また違う施設にいく。離職が多いイメージがあるが、ある研修会でのデータではホテル業界や飲食業界よりも離職率は逆に低いと言われる先生もいる。「離職防止支援」と言うと、介護業界はどんどん離職してしまうイメージが余計についてしまうので、これ自体を「職場定着支援」と言い方を変えたほうが良いのではないか。それと、職場に定着するために何が必要なのかが大事だと思う。それは福祉に限らず必要なことだが、職場定着のためのノウハウを積み上げている福祉現場と、職場定着できない現場で差がすごくあると感じている。職場定着のノウハウを共有することや、行政の支援や団体の支援等が必要だと感じた。</p> <p>他に何かあるか。上田委員は施設に入ってボランティアをされる機会が多いと思うが、何か感じていることはあるか。</p> |
| 委員 | <p>仕事が大変で腰を痛めたりして、好きだけど合わないと言って去っていく人もいる。魅力ある良い仕事だとは思うが、確かに大変だと思う。</p> |
| 部会長 | <p>魅力のある仕事ではあるが、肉体的な大変さが伴う。少しづつ介護現場もスライディングシートで滑らせて持ち上げない介護等、できるだけ肉体的な負担が少なくなるようになっているが、どうしてもまだまだ力仕事という現場が半分以上あると感じている。社会福祉協議会の事業として、高校生が施設見学をしている。その中でも、車椅子からベッド等へ移動する時に抱えな</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>いでできる装置を見てもらっている。これだったら力がなくてもできると感じてもらって、こういうことをもっともっと発信していく必要がある。力仕事は確かにまだ現場としては残っているが、リフトやスライディングシートで抱えない介護があと5～10年すればもっと浸透して、今回のコロナの関係でくっつかなくとも介護できる方法がもっと研究されていくと感じている。</p> <p>施策例の「福祉人材の育成支援（高校等）」「学校での福祉学習（小・中学校）」このあたりにもっと情報発信するために、中川委員、何かご意見があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>施策例にある「国の制度改革に準じて済ますのではなく～丹波市独自の処遇改善策～」これも一つの大きな要因だと思う。ただ、これが計画に位置づけられたとしても果たしてできるのか。一方では丹波市がもう少し行政支援をする必要があると思う。丹波市の財政上、果たしてかなうのかどうか危惧している。行政責任としてもう少し手厚い支援策が必要だと思っている。あと、丹波市に帰ってくる若者が少ない。若者が気安く帰ってこられる行政施策が必要だと思う。</p> |
| 部会長 | それでは、Bに進みたい。事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | ○資料1ページのBについて説明 |
| 部会長 | 併せてCについても説明願いたい。 |
| 事務局 | ○資料2ページのCについて説明 |
| 部会長 | ファミサポ事業でも人材確保や人材育成に尽力されていると思うが、吉積委員いかがか。 |
| 委員 | <p>福祉教育をもう少し取り入れていくことも良いと思うが、私の息子は中学2年生の時に将来何になりたいか話していた仕事に就いている。それをしている方を見て、あの仕事がしたいと思ったそうである。介護現場に見学に行って、目覚める子もあるのではないか。生の現場を見る機会があっても良いと思った。</p> <p>離職については、転々とするのは良いが辞めてしまわれるのは寂しい。人間関係が難しいところもあるので、そこは施設の企業努力が必要だと思う。</p> |
| 部会長 | 職業選択の意思是、どのあたりで芽生えるのかがすごく大事になってくると思う。正しいかどうかわからないが、だいたい10歳までに職業選択のベースができると、ある研修会で聞いたことがある。小学生の時に福祉体験をた |

| | |
|-----|---|
| | <p>くさんさせるようなカリキュラムを組んでもらうことが、今後の丹波市の福祉行政の大きな未来を左右すると思う。</p> <p>高齢者就労については、うちの園でも一番上は70歳過ぎの方に洗濯等短い時間の作業を、ボランティアではなく有償のマンパワーとして来ていただいている。元気な高齢者がまだまだたくさん市内にいらっしゃると思うが、老人クラブ連合会の堂本委員、高齢者にどんなアプローチをすれば介護現場にお勤めしてもらえるのか、ご意見があればお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>高齢者が非常に増えている。国なり市なりがもう少し指導力を発揮してほしい。今の高齢者は、一言で考えが変わる。指導する職員の教育が必要ではないか。</p> <p>高校生や小学生は、学校教育の中で専門的な指導もしてもらえばと思う。</p> |
| 委員 | <p>丹波市の高校で福祉学科の誘致も考えていく必要があるのではないか。これは兵庫県の計画に乗っかっていく話で、丹波市の計画にこのこと自体の文言を載せることが可能かどうかは事務局に検討してほしい。看護学科が、但馬と淡路にある。計画に乗っかっていく地域は、県も意識を持ってくれると思う。そのことを提案しておきたい。</p> <p>もう一つ、Bの一番上的人口を増やすことについては、とてもじゃないが夢物語である。市の総合計画の中で言っても、今の世の中そんなことはあまり信用しない。現実にできない話なので。どんどん減っていく中で福祉人材を考えていかないといけない。</p> |
| 部会長 | <p>確かに人口が減ることは止められないが、急カーブを緩やかにすることはできなくはないと思う。「人口減少を少しでも緩やかにする」と表現を変えればどうか。そういう努力や気持ちは必要だと思う。</p> <p>介護現場の人材不足について、外国人雇用はうちの園ではまだ難しい状況だが、丹波市外からの移住者に介護の職場に就職してもらうことに、3年ほど丹波市の社会福祉法人の連絡協議会で関わってきた。阪神間の方で丹波の田舎暮らしをしても良いという方、介護の経験のある方に就労してもらう就労の移住フェアで、1年目は3人、2年目は2人、今年はできなかつたが、そういう働きかけも一つの手だと思う。また、長井委員が言わされたように、丹波市にある、例えば氷上高校に介護・福祉科をつくることを市だけでは無理なので、SNSで呼びかけて署名活動をするとか。何かすることは無駄ではなく、もしかしたら許可をいただけるかもしれない。あと、コロナで学校が休校になった関係で、Zoom等でのオンライン授業が進んだ。丹波市に大学や専門学校を誘致することが無理だとしても、そういう学校と提携して、例えば青垣の空き教室に通信機器を整備して、そこで通信教育を受ける</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>支援をするのはどうか。仕事をしながら資格が取れれば、かかった費用の半分を補助するとか、入学金だけ市が補助するとか。そうすれば、丹波市に残って仕事や勉強をしながら介護の仕事をしようと思う方が増えるのではないか。</p> <p>最後に、Dについて説明願いたい。</p> |
| 事務局 | ○資料2ページのDについて説明 |
| 部会長 | ロボットとかAIの福祉現場への導入について、森島委員、身障の関係ではどうか。 |
| 委員 | 身障の理事をしている中でもスマホが使えない方もある。連絡するのに家に電話をするとか、家に行くことが多い。LINEとかで一つのグループにしてしまえばと思っているが、それができない。 |
| 委員 | 一般的に言うロボットというのは無理。AIも安全面から言うと難しい。 |
| 部会長 | 記録とかは手書きか、パソコン入力か。 |
| 委員 | 今はパソコン入力である。 |
| 部会長 | ちなみに、うちの老人ホームでは介護記録等のパソコン入力はすごく時間がかかるので、iPadでできた文章を繋げていく作業でしている。iPadも若い方はすぐできるが、高齢の方はなかなか難しい。進んで便利になる部分もあるし、逆にそれが負担になることもある。ただ高校の見学に来た子ども達はiPadがあると興味を持ってもらえる。インカムが介護現場ではまだまだ普及していないが、今回それが認められて補助金の対象になった。インカムがあれば、職員間の連携がスムーズになる。ロボットがお世話することは無理だが、効率よくするための補助としてAIやパソコン、iPad等、あとはウォシュレットやリフト等の機械化はもっと介護現場にあればと感じている。 |
| | (2) 社会福祉法人の地域における公益的な取組促進 |
| 部会長 | 事務局より説明願いたい。 |
| 事務局 | ○「地域福祉に関する社会福祉法人アンケート調査報告」に基づき説明 ○資料2ページの6について説明 |

| | |
|-----|---|
| 部会長 | ご意見はあるか。 |
| 委員 | 毎月の機関紙を読むと社協の内容があり、それに沿って私達もできることは協力していかないといけないとわかるので、大変便利に利用している。 |
| 部会長 | 機関紙が発信源として有効というご意見だった。社会福祉法人もそういう機関紙を発行しているので、有効に活用できるようにしていきたい。 |
| 委員 | <p>社協から福祉の勉強会として参加させていただいている。参加された方は皆さん「良い勉強会だった、また参加したい」と言われる。あと、地域は社会福祉法人とどのように繋がっていけば良いのかわからないのではないか。間に入って繋いでもらう何かがあれば良いのではないか。</p> <p>あと、よろずおせっかい相談所は、各 25 校区に拠点施設が決まつたのはなかったか。</p> |
| 事務局 | よろずおせっかい相談所は、各 25 校区に設置していく方針は変わらずある。各地域でよろずおせっかい相談所のイメージが違うようで、全体としてはまだ進めていけていないところがある。まだこれからの中止になってくる。 |
| 部会長 | <p>社会福祉法人でも各法人でよろずおせっかい相談所の看板を出している。各自治協のよろずおせっかい相談所と、各法人が事例報告会や情報交換会ができるれば、地域と上手くネットワークができると思うが、いかんせん法人も看板をあげていても相談がない。</p> <p>高齢施設は要介護になって利用しないとあまりお付き合いがないし、こども園も子どもさんがいなければお付き合いがない。障がいの施設も障がい者で利用することができなければ、お付き合いがない。社会福祉法人は福祉の仕事をしているのに、地域住民に対するアプローチを今までしてこなかった。地域の社会資源なのに、利用対象者以外の地域住民にはあまり役に立ってなかつたと感じる。法律が変わり、利用対象者以外の地域住民にも地域貢献をしないといけないとなった。社会福祉法人も地域のために何かしなければいけないという意識はあるが、なかなかできない状況だと思う。地域のほうから会議室利用の申し出等があれば、地域に開放していきたいと思っている。</p> <p>以上で前半の協議事項を終わりたい。事務局、何かあるか。</p> |
| 事務局 | 特にない。 |
| | 5. 今後の進捗と次回日程 |

事務局

8月13日に3つの部会の部会長が集まる部会長会議がある。その後、日程は未定だが全体会議をもつ予定である。全体会議が終わった後に一度お集まりいただくことになると思っている。それが9月になるのか10月になるのか、また通知等でご案内したい。

部会長

これで丹波市地域福祉計画推進協議会 地域福祉推進部会（第2回）を終わりたい。

6. 閉会

丹波市社会福祉協議会
地域福祉推進計画（第4次）協議
議事録

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和2年8月3日（月）午後2時50分開会～午後3時28分閉会 |
| 開催場所 | 氷上健康福祉センター 集会運動室 |
| 部会長 | 澤村委員 |
| 出席者 | 長井委員、澤村委員、森島委員、堂本委員、上田委員、細見委員、吉積委員、中川委員（以上8名） |
| 欠席者 | 足立委員、北村委員（2名） |
| 議題 | 1. 開会 2. 協議事項 ・地域福祉推進計画（第4次）体系表（案）について（意見交換） 3. その他 4. 閉会 |
| 資料 | （1）会議次第 （2）丹波市地域福祉計画推進協議会 地域福祉推進部会部会員名簿 ○丹波市社協 地域福祉推進計画（第4次）の体系表（案） |

| 議事の経過 | |
|-------|--|
| 発言者 | 発言の要旨 |
| 部会長 | <p>1. 開会</p> <p>定刻になったので、始めたい。</p> |
| 部会長 | <p>2. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進計画（第4次）体系表（案）について（意見交換） |
| 事務局 | まず、事務局より説明願いたい。 |
| 部会長 | ○資料に基づき説明 |
| 部会長 | 確認よろしいか。これは案なので、例えば文字の順序が変わることは可能なのか。「気づく つながる はじめる」ではないか。つながってからはじまるのではないか。「つながる」が後なのか。 |
| 事務局 | こちらの考えだが、まず気づく… |
| 部会長 | つながってそこからスタートするので、「はじめる」が後ではないかと違和感がある。そのあたりも含めて、皆さんのご意見をお願いしたい。 |
| 委員 | 案を見て、「はじめる」の社協の「居場所マップづくりの支援」はとても良いと思った。どこに何があるのかわからないこともあるので、これを見てそこに行ってつながることができる。 |
| 部会長 | それでは、森島委員いかがか。 |
| 委員 | 私は身体障がい者で、障がい者は健常者の先輩だと言う。いつ健常者が障者になるかわからないから。身体障がい者手帳を持っていても、丹波市の会員になっていない人が多い。会員になってもらえば、色々なふれあいの場がある。身障者どうしあわせに励まし合って進めていける。そういうところに入つてもらえる輪を作つてほしいと思う。 |
| 部会長 | 身障の会に入つていただいてつながる、連携を取るために、まずはその会に入つていただきたいというご意見である。その会に入つてもらうために |

| | |
|-----|---|
| | は、どこに身障の方がいるか気づくことが大事だと思う。身障手帳保持者の掘り起こしは何かあるのか。 |
| 事務局 | 身障者手帳は市で管理しており、そういう情報を例えれば身障者会にお出しすることはできない。そういう意味で、チラシを配布したりすることは難しいと聞いている。 |
| 部会長 | 例えば障がい福祉課のカウンターでPRするとか、あとは口コミとかしかないのか。気づけるような手立てが何か考えられたらと思うが、社協でこういった気づくための支援は難しいのか。 |
| 委員 | 身障者の会員数は何年か前から変わっていない。 |
| 部会長 | 身障手帳を発行する時に、行政の窓口なりで身障の会の案内をしてもらうことが一つである。 上田委員いかがか。 |
| 委員 | 家に行って話しかけることは難しいので、気づいてあげて話しかけの中で困ったことはないか聞いてあげられる。つながりを持てるいきいき百歳体操やサロンすることは良いことだと思っている。 |
| 部会長 | 丹南町でもいきいき百歳体操が地域で広がりつつあって、百歳体操にいつも来ている方が来ないので心配して自宅に行ったら倒れていて、百歳体操でつながっていたので大事に至らないで発見できたとお聞きした。百歳体操やサロンが「つながる」という意味ではこれからもっと大事だし、広がってくると思う。 細見委員いかがか。 |
| 委員 | 「防災意識を高めよう」というところで、もっと話し合いの場が持てれば良いと思っている。ひとり暮らしの方で出て来ていない方がたくさんいらっしゃるので、出て来られるように近所付き合いをもっと活発に、何でもお話しできるような環境づくりが一番ではないかと思っている。 |
| 部会長 | ひとり暮らしの方は外に気持ち的に出られないのか、それとも足がなくて出られないのか。 |
| 委員 | 個人的な性格があり、特に男性はその時になれば何とかなるという感じが多い。女性のように協調性が持てない方がたくさんいらっしゃる。もう少し男性の方も出てきて、一緒に考えていけたら嬉しい。 |

| | |
|-----|---|
| 部会長 | <p>なかなか難しい。一人でいるのが好きな方を引っ張り出して、つながるのが全て良しではない。プライベートの時間を尊重しつつ、防災の安否確認や災害支援ではつながっておいたほうが良い。そのあたりの適切な距離感を持つてつながれたら良いと思う。</p> <p>堂本委員いかがか。</p> |
| 委員 | <p>住民が個人で取り組んでいくことはなかなかしにくいと思う。誰か呼び込みをするまとめ役がいればと思うが、百歳体操は私が役を始めて5年ちょっと続く。最初と今の人数が全然変わらない。女性が半分以上である。女性は87歳、男性は80歳くらいと国も言っているが、誰がリーダーになって声かけするのかだと思っている。毎週月曜日にやっているが、皆さんいきいきしている。</p> <p>それと「つながる」の「気の合うグループをつくろう」は難しい。これも誰かリーダーがいないとできない。地域で取り組んでいくことにも課題が色々ある。地域のどこがどういうきっかけで取り組んでいくのか。良いことばかりが書かれているので、是非ともこういうことを進めてほしいと思う。</p> <p>民生委員についても、誰がなっているのか、どういう仕事をされているのかという人が多い。これは行政の仕事だと思う。</p> <p>それと「地域の福祉学習に参加しよう」これも誰が指導してどのようにまとめていくのか。案として出されているが、もう少しそのあたりの中味について教えてほしい。我々は丹波市老人クラブ連合会で指導していく立場もある。</p> <p>それから、「これらに取り組むことによって目指す姿」に「市は、10年、20年先を見て～」とある。これは市長もずっと言われているが、今の高齢者はほとんど80歳以上である。その人達が10年も20年も生きるのかと思う。</p> <p>余談になるが、老人会でもグランドゴルフを盛んにやっている。日曜日にグランドゴルフ大会をしたが、最高年齢が93～94歳である。生きがいを持ってスポーツをされていると感じた。</p> <p>市が指導される中で、もう少し住民にわかりやすく説明ができるようお願いしたい。</p> |
| 部会長 | <p>今気づいたことだが、「住民が個人で取り組んでいくこと」という表記は「個人」と入ると一人で取り組むような印象を受ける。例えば「地域住民が取り組んでいくこと」「地域コミュニティで取り組んでいくこと」のように変えたほうがわかりやすいのではないか。</p> |
| 委員 | <p>田舎でも利己主義的な人が増えてきている。今おっしゃった「住民が個人で取り組んでいくこと」の表記は別として、少し昔に戻れば皆やっていた当</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>たり前のことだと思う。お互いが希薄になってきているので、こういうことは必要だと思っている。継続して情報発信をこまめにしていく必要があるのではないか。</p> <p>欄外の「これらに取り組むことによって目指す姿」も、このとおりだと思う。一番下に「人口減少が進んでいく中にあっても、人権文化の花がさき、コンパクトながら幸せを感じられる社会～」とある。「幸せを感じられる社会」は頭ではわかるが、もっと具体的にどういう社会か表記があればと思う。</p> |
| 事務局 | <p>たくさんご意見をいただいた。これが各項目のタイトルとなる。その中で誰がどのようにしていくか、そのあたりについてもう少し具体的に肉付けをしてお示ししたい。</p> |
| 部会長 | <p>今まで出たご意見を体系表に落とし込んでいただき、より良いものに作り変えていただくということで、協議事項は終わりたい。</p> |
| | <p>3. その他</p> |
| 部会長 | <p>「その他」について、事務局から何かあるか。</p> |
| 事務局 | <p>「その他」についてはない。</p> |
| 部会長 | <p>それでは、第1部の丹波市の会議、第2部の社協の会議、全て予定していた議事を終了したい。</p> <p>丹波市でも7名の方がコロナウイルスを発症したということだが、注意していても明日は我が身で発症してしまうこともある。発症した人が丹波市にいづらくなるのではなく、住民の方がどこで発生しても皆で回復を支援しながら、引き続き楽しく生活できるような丹波市であってほしいと願いつつ、この会議を閉会したい。</p> |
| | <p>4. 閉会</p> |